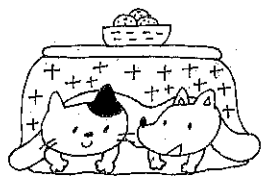


しいの実・たんぽぽ・みず クラスだより



しいのみぐみ

長いお正月休みが明け、また新しいお友だちを迎え、なんと10人になったしいのみぐみです。子どもたちはほげやかなを毎日元気い。はい、笑いと、はいで過ごしています。

いくつか一緒に過ごしているお友だちを責めながら、泣いているお友だちに、よく近づき手を伸ばしたり、顔をのぞきこんで、おそろしにしたりと子どもたちの中にそれぞれお友だちがしっかりといることがよく見えてきて嬉しく思っています。



今年になって、珍しく積もるくらい降った雪!! こんな日に「外で遊ぶのはちょっと難しいかな」と部屋に雪をためてきて、触れてみることに☆冷たい雪に、最初から「やー」と泣く子どもたちも、あまり見たことのない雪に嬉しくて触ると段々と手が冷たくなって泣いてしまう子どもたちがいたり、面白い友だちが沢山見れました😊もう少し大きくなったら、みんな積もった雪にウキウキするでしょうね♡

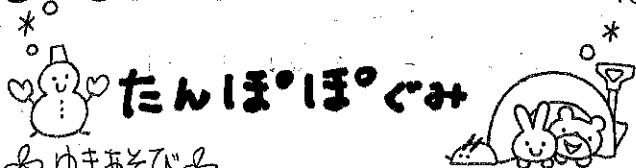
指先を使ったあそび

今月、子どもたちの体調や寒さが厳しかったり、と外よりも室内で過ごすことが多かったしいのみぐみさん。室内では描画の他に指先を使った遊びを楽しみました。みんなでペイントスティックに棒をポットンと入れる「ポットン」を楽しんだ日もあります。また上手に親指と人差し指でつまむことが難しい子どもたちは手の平全体でつまみ、器用にポットンできたりもして「上手ー!!!」とみんな喜んで合ったり、長い時間集中して遊べました。

みんながミール貼りをした時も大きな紙に集中してポットンするお友だちに刺激を受けてたくさん見て、あそびました。また見ることが難しい子どもたちとお友だちが、見ている様子をじーと見つめていたり、（はがきょうたり）（笑）みんながそれぞれ、長い時間集中してあそぶことができました。

またいろいろな指先を使ったあそびにも取り組んでいきたいと思っています。

※ツマミのびていたり、角がとがっていることもあるので、糸目やフェルトをお原返します!!



たんぽぽぐみ

あそび
今年、3回も積雪があり、屋上で雪あそびをすることができました。慣れない冷たい雪を嫌がる子どもも多かったかと思いましたが、意外と大丈夫な子どもも多く、屋上の床一面に雪が積もっているのを見て大喜びしていました。むくむくと歩いて、雪を踏みしめる感触を楽しみ、保育者のマネをして雪を宙に舞うようにしたり、花たんに積もった雪に息を吹きかけて飛ばしてみたり、友だちや保育者が飛ばした雪が顔にかかり、「うめた」と言いながらも笑顔だったりと、終始笑顔で雪あそびを楽しめることができました。もう2月になれば、積雪を望むことは難しいかもしれませんが、もし機会があれば、思い切り雪あそびを楽しみたいと思います。1月の雪あそびは、いい経験になりました。

あそび

4月から、できるだけ月に一度は糸絵を描くようにしてきました。4月から10ヶ月が経ち、身体、心が成長すると共に、絵も成長しています。はじめは、なんとなく自信なさかった子どもたちも、今では意欲的に描くようになり、描いた絵にも変化がみられ、「大胆に楽しんで描くようになりたなあ」と、子どもたちの姿を見ています。生まれて1歳に満たない運動機能が未熟な頃は、「点」を描くことから始まります。それが、成長と共に徐々に身体を上手に動かせるようになり、また言語認識面でもしっかりしてくると、絵の変化が見られるようになります。
点→線→連続したワルワル→独立したワルワル→丸→閉じた丸→丸の中に丸や線へと変化していきます。独立したワルワルを描く頃、なぐり描きだったのが、バジとよりのあざり、「おかあさん」などに見立てるようになります。一人ひとり、発達の違いや個性があるように、描画にも個性があります。大胆に楽しんで描くようになったとはいえ、苦手な子どももいます。制作展では、一人ひとり画用紙の中で表現したのを見ていただけたらいいなと思います。

みずぐみ

今年、雪がたくさん降りましたね。お部屋の窓から雪が降っていることに気づいて、「雪がふってる」と一人の子が教えてくれると、皆次々と窓のところに行き、外を見ていました。外に行く前にジャンパーを着て行きますが、今は一人ひとりがフラスナーの練習をしています。うまく穴に入らなかったり、ひっかけたりうまくいかないことがまだありますが、保育者の見守りの中で出来るところまでやろうとしたり、自分でフラスナーとにらめっこをしながら集中している様子も見られるようになりました。子どもたちが少しでも「自分で出来た」という喜びと自信をこれから色々な経験の中でしてもらえたらいいなと思いました。

1月後半は天候や寒さの関係で外での活動が少なくなってしまいました。そのため、室内でコマ作りや描画、そしてひも通や粘土などの指先を使う遊びを中心にしてきました。コマ作りでは、絵の具で色を塗り、フェルトを小さく切ったものを貼りました。絵の具は3色から好きな色を選んで塗りましたが、色がまざった時に別の色に変化したことがおもしろく、色々な色ながらも一人ひとりの個性があらわれる素敵なコマが完成しました。天候の良い日には、外に出ることもあり、雪が残っていると触りに行き、雪の冷たさを感じたり、足で踏んでザクザクとした音を聞いていました。また、鬼ごっこも始まり、保育者が鬼となって追いかけると、つかまらないように隠れたり、一生懸命に逃げて、いつの間にか身体が暖かっていました。

2月も寒い日が続くと思われていますが、体調管理をしっかりとしながら今年1年も元気に過ごしていきたいですね。

子どもが発育する上で、指先を上手に動かすことはとても大切なことだと言われています。指先を使うことで、脳に刺激が行き、思考力や記憶力、また集中力もついていきます。最近では生活が便利になり、指先を使うことが減っているといわれています。少しでも遊びに取り入れていけたらいいなと思います。また、この2、3歳の時期では少しずつハサミも使えるようになってくるころですが、使う時には、まず使い方、危ないことを伝え、それが理解でき、子どもの手の大きさにあったものを使うことが大切です。子どもが一人でハサミを使うのはまだ危ないです。なので、おうちの方が必ず目を離さないように気を付けてください。

